



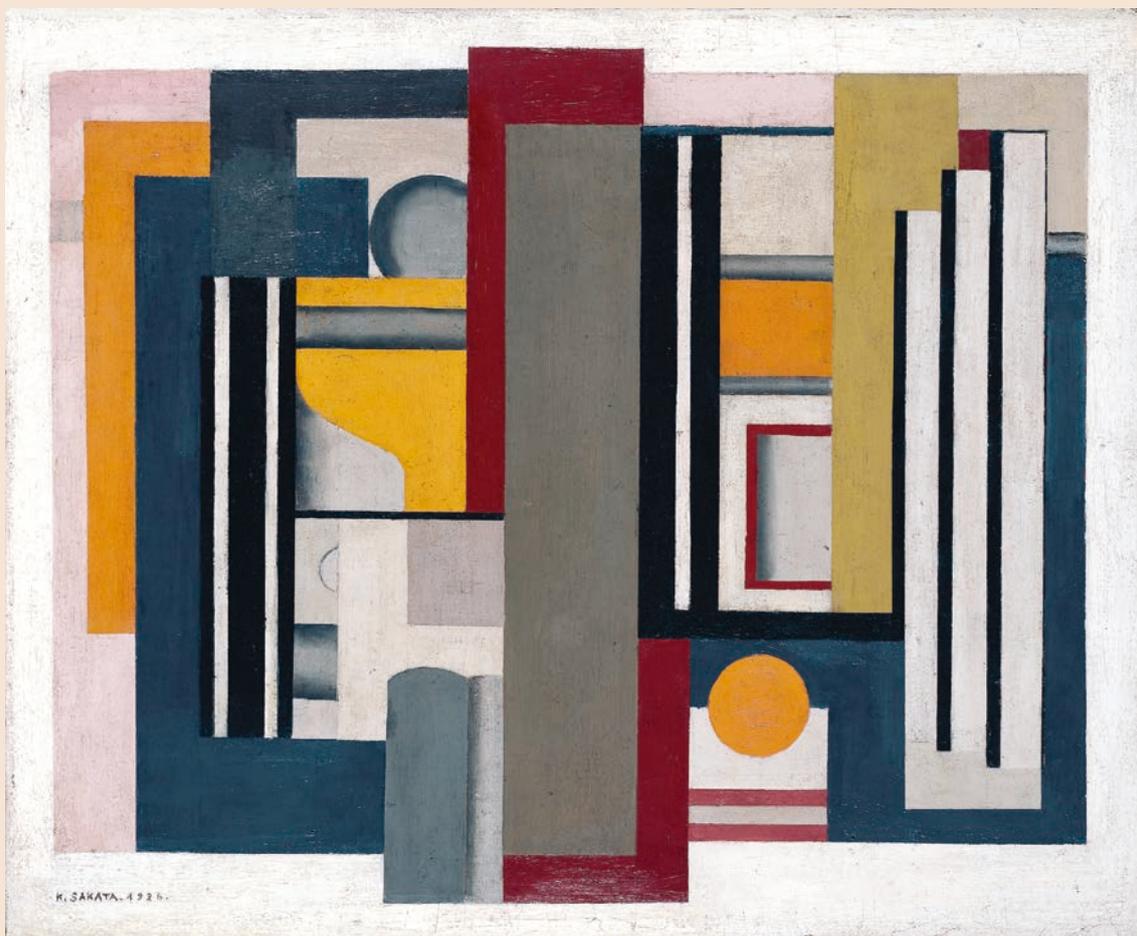
2012-2013 ガバナー月信

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

Governor's Monthly Letter

Vol. **11**

2013.5.1



「習作」 坂田一男

(大原美術館所蔵)



Peace
Through Service

2012-2013年度

国際ロータリー会長 田中 作次

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2012-2013年度ガバナー 森田 昭一郎

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
新世界への挑戦
- 3 第7グループ IM 報告
- 4 RYLA セミナー 報告
- 5 国際ロータリー第1・2・3ゾーン
SAKUJI作戦と会員増強セミナー 報告
- 6 ロータリー財団奨学生選考会報告
第4回 諮問委員会 報告
- 7~10 新地区補助金活動報告
- 11 真庭ロータリークラブ創立30周年記念式典を終えて
- 12~13 地区だより (3月)
- 13 文庫通信
- 14 出席報告 (3月)

ガバナーメッセージ

新世界への挑戦

国際ロータリー第2690地区ガバナー

森田 昭一郎



私達は良質な生活を保つ為に活用できる情報や集団生活の中で他者と良好な関係を維持する為にどのように行動するか、いわば生きる為のノウハウはアナログの世界の中で自身の目と耳と足で獲得してきました。つまり自分自身を現場に置く事によってのみ、確度の高い正確な情報と有用な知恵を得る事を可能としてきました。そんなスローながら自分自身で理解できる世界で私達は育てられてきました。しかし時代の推移と共に情報獲得手段は多様化し、必要な情報がいつでもどこでも手に入れる事が出来るデジタルネット社会の爆発的な展開に戸惑いつつも、対応せざるを得なくなってきたのが現況です。

ともすればバーチャル上のネット情報は若い世代に対するアプローチであり、私達のジェネレーションに対する問いかけではないようにとらえています。しかし現実を考えるならむしろネット情報の最大のマーケットは私達の世代ではないのでしょうか。私達は年一年と歳をとっていく、つまり体力的にも精神的にもフットワークが衰える年代に入っています。車社会でありながら年齢的に車の利用は次第に頻度が少なくなり、やがてわずか数km程度のテリトリーの中で生活を組まなければならない、そんな事態に追い込まれます。私達は高齢化の中であっても社会との接点を出来るだけ多く持たなければ、やがて孤独に沈んでしまう恐れがあるのではないのでしょうか。

本年、従来までペーパーであったガバナー月信を電子化したのは経費節約の意味もありましたが、実は底辺にはデジタルネット社会への対応、年齢的にその必

要性が増してくる生活上のスキルを会員の皆さんに習得していただきたいという願いであったが故の決断でした。ある程度の年齢になって新しいライフスタイルに必要なスキルを身につける為には努力が必要です。しかし全く新しい形の目と耳と口を自分自身のものとし、現実的な距離に関係なく社会的連鎖を育てていく環境作りは、近い将来どうしても必要なスタイルになるように思われます。

この一年、私は face book で第2690地区RC公式訪問や周年記念行事をタイムリーに発信し続け、月信を補充する役割を果たすツールとして活用してきました。Face book は同期ガバナーの多くが利用され、私の発信に対して毎回「いいね!」を100名近くの方がクリックし、新しいコミュニケーションツールを活用しています。

私達ロータリアンには地域社会の中でのリーダーたらんとする心がまえと、その自負ゆえの誇りに責任を持つ為にも自らの前進に拍車をかけるべきではないでしょうか。電子化は与えられる人生ではなく、与える人生を目指して振り向く事なく高い理想を掲げ、地域社会とそして世界との接点をより多く作り、悔いのない活動を継続していく為に、そして自分自身の高品質の生活を維持する為にも必要かくべからざるスキルとして私達に与えられたいわば挑戦すべき選択肢であると確信しています。



第7グループ IM 報告

ガバナー補佐 香川 俊一

2013年3月17日倉敷アイビースクエアにて倉敷瀬戸内 RC をホストクラブとして三宅英和 IM 実行委員長のもと第7グループ324名の全員登録を戴いて森田ガバナーをはじめ地区内7名の方々のご来賓をお迎えし、13:00よりIMが点鐘、開会宣言で始まりました。ガバナー、ガバナー補佐の挨拶の後、講演1としてシンガーソングライター講演師 石川達之先生に<生きていることの輝き>と題して講演いただきました。先生は鳥取県湯梨浜町在住で、32年勤めた消防局を退職し、ギターを片手に「心」をテーマとした歌入りのライブ活動を全国各地で行っています。このIMでのお話は消防活動での生死の凄惨な現場やそこに於ける人間模様など、一般的な職業で経験し得ない体験をもとに、ご自身の心情や家族への愛などを歌にし、ユーモアも交えて話されました。また、先生ご自身の奥様が鬱病を患い、それを夫婦で長い時間を掛けて克服された体験談等、それを基にこころのケアに関するボランティア活動をされているとのことで、大変感動的な講演でした。



講演2としてプロ野球解説者、元参議院議員 江本孟紀先生が<江本孟紀の熱き語らい>と題して講演されました。これまでの生い立ちや野球との関わり等、特に前半のお話は、いろいろな場面での挫折のことを話され、大変苦勞をされて、華やかな表舞台に立てる状態になったと感じました。

また様々な先輩、監督、名選手との出会いが、大いに江本先生の人間形成により影響を与えたようで、野村克也監督の選手育成術、張本勲選手の度量の大きさとその打撃術等、興味あるお話が続きました。



また3月に開催されたWBC（ワールドベースボールクラシック）の内幕のお話で、その興行の収益配分が、著しくアメリカに偏った契約になっており、お祭り好きで一過性のイベント好きな日本人の国民性に便乗した、アメリカプロ野球機構と選手会の収入増のためのWBCであると断言されました。暴露的なお話で、聴衆の中にも驚いた方が居られたと思います。

講演後の質疑応答では質問が相次ぎ、もう少し聞きたいとの声もありましたが、好評の内に終了しました。

地区IMテーマ<会員増強>と、この二つの講演は幾分離れたものとは思いますが、まずはIM参加者に喜んで頂き、多才な講師のお話をお聞きすることによって自らの資質を高めることが、ひいては退会防止や会員増強に結びつくのではと考え、IM参加者にロータリーアンで良かったと実感していただくことに主眼を置きました。

講演後、フローラルコートの懇親会場へ講師の方々と共に移動し「由加和太鼓」や中山倉敷瀬戸内RC会員の編成する「健康バンド」の演奏を楽しみました。IMの目的の一つである会員相互の親睦と面識を広めることを念頭に、ホストクラブ全員が接待役になってIM参加者に奉仕させて頂きました。

最後にロータリーソング「手に手つないで」を唱和して18:40に散会しました。

RYLA セミナー 報告

新世代奉仕委員長 木下 広志

2013年3月31日(日)、倉敷アイビースクエア・フローラルコートにおいて第2690地区 RYLA が開催されました。

新世代のメンバー19名とロータリアン23名の参加をいただき、「コミュニケーションの達人を目指そう!人間の理解を心と体から」と題して2名の講師をお招きしてセミナーを行いました。

セミナーの前に19名の新世代メンバーには、自己紹介を行っていただきました。いくつか項目を指定して発表してもらったのですが、若い世代とは思えないほどしっかりとした自己主張をしてくれるメンバーや、はにかみながら自分の思いを語ってくれる好感の持てるメンバーもいました。社会で活躍されているロータリアンの前での堂々とした自己紹介であったと思います。

第1講師の森田恵子フリーアナウンサーは、「次世代リーダーのためのコミュニケーションセミナー」と題し、まず参加者の緊張をほぐすべく、「ペアじゃんけん」という2人一組になり、じゃんけんで勝ち抜いていくゲーム性を取り入れたアイスブレイクの手法で進行しました。決勝まで残ったのは、なんと森田ガバナーと井上地区代表幹事ペア、対するは、新世代メンバーのペアでした。最終的には新世代メンバーが勝利しましたが、せっかく新世代に自信を持って社会に出てもらうことをコンセプトにしているのに、ガバナーのスタッフがそれを打ち砕くと



いう危うい展開になるところでした。しかしながら緊張をほぐすという目的は十分に果たせたように思います。

第1講演終了後、コース料理で昼食となりましたが、この機会も無駄にせず、フランス料理のマナー講座とさせてもらいました。食べ慣れているはずのロータリアンからいろいろな質問があがり、新世代メンバーも笑いを交えて良い経験ができたことでしょう。

第2講師の保野孝弘川崎福祉大学教授は、眠りが体に与える影響、良質の睡眠をとる方法を講演いただきました。社会で活躍するためには健康であることが基本です。眠りの重要性について再認識させていただきました。

終わりに、森田ガバナーをはじめ、関係ロータリアンの皆様にご指導をいただき、無事新世代奉仕委員長の役目を務めさせていただきましたことを深く感謝申し上げます、RYLA セミナーの報告とさせていただきます。



国際ロータリー第1・2・3ゾーン SAKUJI作戦と会員増強セミナー 報告

地区会員増強職業分類委員長 桑村 琢

3月19日(火) 午前10時から東京のハイアットリージェンシーにおいて、『国際ロータリー第1・2・3ゾーン「SAKUJI作戦」と会員増強セミナー』が開催され、当地区からは、森田昭一郎ガバナー、森本信一ガバナーエレクト、そして私の3名が参加いたしました。

冒頭に、松宮剛RI理事より、ロータリークラブへ入会した人は、そのクラブの会員ではなく、国際ロータリーの会員だということを各地区で説明して欲しいと依頼がありました(自クラブだけの利益ではなく 広い視野でロータリーという組織を考えて欲しいということ)。

第1ゾーン桑原茂ロータリー・コーディネーターからは、シカゴで3月に開催された研修セミナーと会員増強に対して助言や援助を行う旨の報告がありました。

第2ゾーン坂本俊雄ロータリー・コーディネーターからは、日本の現状についての報告がありました。RIはガバナーエレクトに対し2015年6月末までに会員を全世界で130万人に拡大するという目標を2011年9月のRI理事会で承認していること。そのために毎年3%会員を増やすという目標を2011年9月と2012年1月のRI理事会で承認していることなどです。

日本におきましては、6月末の会員数は毎年減少が続いており、91年・97年には13万人を超えていた会員数が現在では9万人を下回っています。

逆に全世界で増えているのは女性会員です。2012年6月現在、女性会員の割合が最も高い国はタイの27.9%、カナダ→アメリカと続き、最下位は日本の4.9%(4400人)となります。

日本で最も女性会員の多い地区は2750地区で約9%、女性会員が所属するクラブは55%になります(シカゴRCは、151人の会員中50人が女性だそうです)。

辰野克彦RI会員増強維持委員会委員からは、米山学友をロータリアンとしてEクラブに迎えようという提案がありました。実際、2012年6月2日に【東京米山Eロータリークラブ】が学友16名・一般12名の計28名で設立されたそうです。(条件はありますが、国籍・性別不問、入会金1万円、月会費は5千円、事務局は置いていない)

午後からは、第3ゾーン井上暎夫ロータリー・コーディネーターから現在展開している「SAKUJI作戦」についての報告がありました。「SAKUJI作戦」というのは、



日本における会員増強達成のために行う田中作次RI会長の名前にちなんだ「サクセス ジャパン」作戦のことです。

これは、会員が日本の他地区にいる自分の友人や知人をその地区のクラブに紹介しあうことで、日本の会員数拡大を目指すことを目的としています。

しかしながら現状は、この作戦に参加表明したクラブ数は869クラブと46%に留まっています。(2540地区が100%、2660地区と2720地区が72%) また推薦状を実際に提出したクラブ数は、全国でわずか31クラブ、3.6%(受入表明したクラブ数に対し)、推薦状の数は41枚という非常に厳しい現状です。2690地区におきましては、参加表明いただいたクラブは67クラブ中38クラブです。また、境港RCから1名、岡山丸の内RCから2名の推薦状をすでにいただいております。現在はまだ入会には至っていませんが、推薦いただいたことに大変感謝申し上げます。2015年6月までに130万人を目指すのがRIの目標です。現在日本には3ゾーンが設定されていますが、1ゾーンの目安は3.4万人であり、日本は次回ゾーン改訂時に2~2.5ゾーンへ減る可能性があります。

最後になりますが、2690地区の重点目標は、会員数の5%UPであり、「1人が1人を」の精神で是非とも自クラブの会員増強と「SAKUJI作戦」への協力を心よりお願い申し上げます。



ロータリー財団奨学生選考会報告

地区ロータリー財団学友委員会 委員長 櫛田修平

ロータリー財団奨学生選考会が、2013年3月22日にアークホテル岡山で開催されました。面接審査委員は、森田ガバナー、森本ガバナーエレクト、鳥居地区ロータリー委員長、井上代表幹事、脇次期代表幹事、清田次期財団学友委員長、柳生財団委員長、井村語学面接官、私の9名。グローバル補助金申請者海野歩未さん(教育学専攻、後に第2690地区補助金に申請変更、派遣クラブは岡山東RC)、第2690地区補助金申請者永末藍さん(声楽専攻、岡山丸の内RC推薦)の審査を行いました。

選考会は森田ガバナーの挨拶に続き、鳥居地区ロータリー財団委員長が選考方法や面接の心得について応募者に説明しました。その後、各審査委員が一般面接を、井村語学面接官が語学面接を1時間ずつ行いました。

面接審査委員で検討した結果、前記2名の地区支援を決定し、3月27日に通知しました。6月5日に留学前のオリエンテーションを行い、ロータリー財団の活動や奨学生の役割などをご理解いただく予定です。

第4回 諮問委員会 報告

日時：2013年3月23日(土)

13:00~15:30

場所：倉敷国際ホテル 藤の間

《協議事項》

1. 青少年交換委員会委員会費 積立金取り崩しについて

《報告事項》

1. 2015-16 ガバナーの信任について
2. 青少年交換学生について
William Richard Johnson 君について
大月美月さんについて
3. 2013年度 米山記念奨学生選考結果について
4. 国際大会登録状況について
5. 2012-13年度 WCS について
6. 今後の行事予定について

7. クラブ・ビルダー賞について

意義ある業績賞について

ロータリアン配偶者/パートナー奉仕功労賞
(該当なし)

8. 橋本 PG 「ポリオのない世界を目指す奉仕大賞」の受賞について

9. 鳥居 PG 2013-14年度 恒久基金/大口寄付アドバイザー任命について

10. ロータリー世界平和フォーラム広島 その後について

11. 「SAKUJI 作戦」の進捗状況について

12. RID2690地区各クラブ会員増強の現況について

13. IM の合同開催 その後の顛末について

14. その他

●次回の開催案内 第5回諮問委員会・感謝の夕べ

2013年 5月25日(土) 平翠軒 会議2F、会食「さくら」



新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

東日本大震災被災者支援 農園体験を通しての交流プロジェクト

倉敷中央ロータリークラブ

【実施場所】岡山久保観光農園 岡山市御津公民館

【実施日】2012年9月23日

【協力団体】倉敷市社会福祉協議会

【受益者】倉敷在住の東日本より避難されている方56名（大人27名、子ども29名）

【支出内訳】交通費 大型バス1台 70,000円、バーベキューセット レンタル 78,001円

【実施内容】倉敷市域に避難された被災者の方々が出会い、友好を深めるようにぶどう狩りやバーベキューを行った。併せて「子供が親に心を開き、本当の気持ちを伝えることのできる接し方、また子供が問題を持って悩んでいるときに、自分で解決できるように手助けをするには」という内容の親業セミナーを開催した。同時に、同室でもう一人の講師によるおもちゃコーナーを併設し、子どもが退屈しない工夫を凝らし、親が安心して受講できるようにした。

また、病気や不安を取り除くため会員医師によるカウンセリングを行った。

【活動模様】



親業セミナー



集合写真



バーベキュー



観光農園

天体学習と料理を通じての地域のまめリーダーの育成

井原ロータリークラブ

【実施場所】岡山県井原市美星町 美星天文台及び中世夢が原周辺

【実施日】2012年9月30日

【受益者】井原市内の子供達（障害者及び健常者の小中学生とボランティア高校生）他 計105名

【支出内訳】交通費 28人乗りバス3台 105,000円、参加者募集リーフレット印刷費 60,000円、傷害保険料 2円

【実施内容】市内の子供たち（障害者及び健常者の小学生・ボランティアの中学生・高校生）に広く参加募集を募った。参加者は、3班に分かれて天文台の見学や望遠鏡で実際に星や月を見た後、天文台の先生2名に宇宙の話をして頂き、勉強した。その後、それぞれの班でバーベキューをつくる役割分担を決めさせ（火おこし・薪集め・食材集め等）コミュニケーションをはかりながら協力して作業を行わせた。薩摩芋ととうもろこし栽培については、「中世夢が原あそしえいと」に、土地借地・芋苗の植付け・栽培にかかる資材・作業等一切を依頼した。まめリーダー育成については、まとめ役の高校生31名（1班2名×15班）に、事前に現地視察も兼ねて美星天文台にて事前研修を行い、リーダーとしての意識の高揚をはかった。

【活動模様】



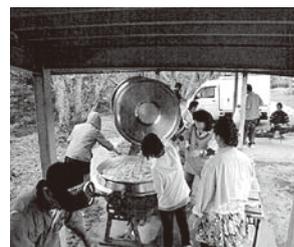
まめリーダー研修



天体学習



調理



新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

小学生親子を対象とした高梁川源流エコハイキングと源流域植樹会

新見ロータリークラブ

【実施場所】 新見市千屋花見 新見美しい森、千屋ダム

【実施日】 2012年11月17日

【協力団体】 かのさと体験観光協会

【受益者】 参加小学生親子ら14名及び高梁川流域住民

【支出内訳】 苗木代（ブナの木）植付穴掘費含む 148,770円、交通費（中型バス2台） 732円、標柱（ブナの木植樹） 10,500円

【実施内容】 にいみエコキッズクラブの活動の一環として、新見市内及び高梁川流域の親子を対象に高梁川源流のハイキング、広葉樹（ブナ）の植樹、ダムの見学等を通して、自然との共生や環境保全や水資源の大切さを学ぶとともに、青少年の健全育成と環境リーダーの育成を目的とし、①新見市千屋花見、高梁川源流の剣山登山②新見美しい森へのブナの苗木植樹③千屋ダム見学④森林インストラクターによる源流の自然説明を実施内容として計画した。当日は、雪と雨の荒天となったため、参加者が非常に少ない状態での開催となった。また、安全を考え、予定していた剣山登山を中止し、新見美しい森まで2.3キロを歩き、美しい森にブナの苗木250本を植樹、ビジターセンター及び道中で森林インストラクター大橋日出男氏の源流の「自然講座」、新見 RC 会員による「千屋の歴史講座」を行い、高梁川本流の千屋ダムの展示室およびえん堤を見学した。

【活動模様】



森林インストラクターによる自然講話



植樹風景



高齢者安全安心確保のための講習会の開催とプロジェクターの寄贈プロジェクト（命のカプセル）

岡山丸の内ロータリークラブ

【実施場所】 岡山北ふれあいセンター・岡山全日空ホテル・独居老人宅（3箇所）

【実施日】 2012年10月31日・12月5日・12月18日

【受益者】 岡山市在住の高齢者160名及び民生委員35名

【支出内訳】 エプソン液晶プロジェクター他一式 110,001円

【実施内容】 10/31：岡山北ふれあいセンターにて、約35名の地域の方々（民生委員他町内会長等）にお集まりいただき、社会福祉協議会の担当者並びに当クラブ会員（医師）より、「命のカプセル」（高齢者や独居老人の家の冷蔵庫内に、既往症や緊急連絡先などの情報を記載した用紙をカプセルに入れて保管するという制度）の必要性や注意事項、日々、訪問診療を行う医師の立場からのお年寄りへの接し方、注意点、現実の医療現場の説明をした。

12/5：社会福祉協議会会長他3名に、「命のカプセル」の説明や高齢者への接し方等の説明の後、安全安心確保のための講演時に使用してもらうプロジェクターを寄贈した。

12/18：独居老人宅3軒に直接伺い、それぞれに「命のカプセル」を説明し手渡した。

【活動模様】



社会福祉協議会にプロジェクター寄贈



独居老人宅にて「命のカプセル」手渡し





新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

平田愛宕山公園 緑化プロジェクト

～地元の小中高校生とともに行う桜の植樹～

平田ロータリークラブ

【実施場所】 出雲市平田町 愛宕山公園地内

【実施日】 2012年11月9日・12月29日

【協力団体】 平田愛宕山公園を美しくする会

【受益者】 市内小中高校生45名および平田地域（出雲市）の住民

【支出内訳】 苗木（染井吉野）30本×2,625円 78,750円、苗木（クヌギ）10本×2,625円 26,750円、植樹工費 1円

【実施内容】 2012年11月9日及び12月29日に、平田愛宕山公園にて、平田地域の住民の為に、小中高校生と平田ロータリークラブのメンバーで、桜30本とクヌギ10本を植樹した。

日本中の山々も針葉樹ばかりが商業目的で植えられ、今や産業構造の変化や物流の進化により、かつての森林の目的は無くなってしまった。そのことにより日本中の国土が荒れ果て、川や海までも自然破壊が進んでいる。だからこそ、かつての地球の水や空気を取り戻すために、私たちが手の届くところから率先して植樹をし、地球本来の環境を子供たちに残すために、共に汗を流しながら実施した。

【活動模様】



高校生との植樹



植 樹



平田ロータリークラブ
名入りの記念杭を設置

「石見銀山学」推進プロジェクト

～井戸平左衛門正明の功績を今に活かす（講演会の開催と頌徳碑分布マップの作成）～

大田ロータリークラブ

【実施場所】 大森町 町並み交流センター（石見銀山 大田市大森町イ490）（講演会）

【実施日】 2012年11月11日

【受益者】 石見銀山への観光客並びに大田市民（講演会参加者150名）

【支出内訳】 講演会講師謝金 30,000円、印刷費（マップ600部発刊） 270,000円

【実施内容】 ①大森町 町並み交流センター

大田市と笠岡市の専門講師を招いて井戸平左衛門公の功績についての講演会を実施。

講師：大田市 大田市文化協会副会長 石賀了氏（井戸公頌徳碑の研究者）

笠岡市 威徳寺住職 長田暁一氏（井戸公の墓が建立）

②井戸公の功績と頌徳碑を紹介したマップを作成し、行政・学校・公民館・まちづくりセンター等での生涯学習教材としての活用や、観光協会・旅館組合等関係機関や観光施設を通じて観光客に配布し、新たな観光コースを提案するなどマップ作成の成果を活かす。12月12日大田市長にマップ完成報告と贈呈に大田市役所を訪問。

【活動模様】



講演会風景

新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

身体障がい者および高齢者を対象としたユニークダンス発表会

岡山岡南ロータリークラブ

【実施場所】 岡山ふれあいセンター（岡山市中区桑野）

【実施日】 2012年11月18日

【受益者】 障がい者団体及び老人施設等で行っているユニークダンス教室の参加者及びその家族 合計120人

【支出内訳】 案内チラシ制作費（1,000枚） 31,500円、プログラム制作費（300部） 42,000円、ポスター制作費（200枚） 38,800円

【実施内容】 障がいがあっても、ダンスを踊ったことがなくても、リズムに乗ってみんなで楽しもうというユニークダンスに永年取り組んでいる、障がい者団体及び老人施設等に声をかけ、岡山岡南ロータリークラブが、岡山市中区桑野のふれあいセンター大ホールで発表会を開催した。当日は、約60人の参加者に加えボランティア、家族等が参加し観客含めて約200名で大いに盛り上がった。なお、申請時の予算に挙げていた福祉タクシーは、利用者側から辞退の申し出があったため利用しなかった。また、追加でポスターを制作し、発表会開催の周知に役立てた。

【活動模様】



開会あいさつ



車椅子オープニング



ロータリアンの参加状況



参加者・ボランティア・ロータリアンで記念撮影

新設されるスポーツ公園にスポーツクラブ子供会員と共に記念植樹を行うプロジェクト

米子東ロータリークラブ

【実施場所】 養和会 YAJIN フィールド（2013年3月1日命名、鳥取県米子市安倍1-1）

【実施日】 2012年12月1日

【協力団体】 NPO 法人やまつみスポーツクラブ

【受益者】 NPO 法人やまつみスポーツクラブ、ガイナレ鳥取メンバー約100人（直接的）、米子市民15万人・鳥取県民60万人（間接的）

【支出内訳】 植樹用桜苗木 A 100,000円、標柱 63,000円、広報費 テレビ CM 制作費一式 1円

【実施内容】 米子市民の永年の念願であったスポーツ公園が完成するにあたり、米子東ロータリークラブが NPO 法人やまつみスポーツクラブ子供会員と共に新地区補助金を活用し、周辺環境整備の一環として「桜」の記念植樹を行った。このスポーツ公園には、ガイナレ鳥取（株）が中心となり市民の協賛金を財源として建設されるサッカースタジアム（チュウブ YAJIN スタジアム）のほか多目的広場が併設されており、完成後はサッカー J2リーグ公式戦のほか、スポーツを通じた交流を深める場として市民に開放される予定である。

スポーツ公園を運営、管理する NPO 法人やまつみスポーツクラブの理念は、まち造り、文化・芸術・スポーツ振興、子供の健康育成である。青少年の多感な成長期に自ら樹木を植え育成する事業を体験させることは、彼らの今後の生活、進路、人生における生き方に少なからず良い影響を与えると共に、この体験を出発点として、世の中に、地域に、「tsu・ku・su」心を育むきっかけになると考える。

当日は、米子東ロータリークラブ会員と NPO 法人やまつみスポーツクラブの子供たちに加えて、この活動に賛同をしていただいた鳥取県西部総合事務所所長、および2013年5月に国立公園大山で開催される全国植樹祭のマスコットキャラクター「トッキーノ」にも参加してもらい記念植樹を盛り上げてもらった。そして、贈呈者名「米子東ロータリークラブ」と子供たちから募集した桜の名前「強小桜」が刻み込まれたモニュメントの除幕式も行った。

【活動模様】



植樹風景

真庭ロータリークラブ創立30周年記念式典を終えて

真庭ロータリークラブ会長 前原 進

近年にない厳しい寒さの冬も峠を越し春間近の3月24日（日）真庭ロータリークラブ創立30周年記念式典が挙行されました。RI2690地区・森田昭一郎ガバナーをはじめ、多くの御来賓の方々の御臨席を賜り盛大に開催できましたことにお礼申し上げます。

津山西ロータリークラブをスポンサークラブとして、創立以来先達のご苦勞の中で幾つかの息の長い奉仕活動が継続できましたのも、会員一人一人の活動はもちろん日頃より多くの方々の御指導、御鞭撻のおかげと感謝いたします。

30周年記念として4つの事業を行いました。1)「本に親しむ事業」として、真庭市及び新庄村の小学校一年全てのクラスに絵本と手作りの本棚を寄贈。3月14日（木）に真庭市役所においてメディアの方を前にして井手市長様、沼教育長様に目録を手渡すことがで



きました。2) IT を利用しての真庭の良さを全国に発信展開しこれを継続。フェイスブックで真庭ロータリークラブホームページを通じ適宜新鮮な情報を発信しています。3) 式典当日、発表者は一人の主婦として20年以上に渡りタイの恵まれない子供たちに奉仕活動を実践してこられた貴重な経験をご講演いただきました。主婦の立場を超えての奉仕活動に出席者一同感嘆の声をあげ、目は潤み拍手は鳴りやまぬ気さえしました。4) 式典の日、真庭地域で地道に活動している優れた5つの奉仕団体を顕彰しその活動状況を地域に広めることができました。

祝賀会は渡辺好政パストガバナーの祝辞と乾杯の音頭で始まり、心のこもった料理をいただきながら歓談に花を咲かせました。アトラクションは真庭市のアマチュアジャズバンド(メンバーの2人は当クラブロータリアン)とヴォーカルの溜音さんの演奏を楽しんでいただきました。最後には豪華な景品の当たる抽選会も行われすべての記念式典を終えることができました。

創立30年を無事終えた今、新たな気持ちで職業奉仕の理想を追求し、親睦を深め、4つのテストを唱えながら40年に向けて奉仕活動に取り組んで行こうと誓い合いました。今後とも益々のご指導、ご支援をお願いして記念式典の報告とさせていただきます。



地区だより (2013年3月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



ベネファクター



メモリアル・コントリビューションへの寄付

松江南RC 田中正彦が、亡き父 田中庄之助の為に 益田RC 大畑順子が、亡き夫 大畑実の為に

クラブ特別寄付 (年次寄付)

倉吉東RC..... 11.00ドル (新入会員寄付)	赤磐RC..... 434.78ドル (ミリオンダラーミール)
出雲RC..... 33.00ドル (新入会員寄付)	20.00ドル (1ドル寄付 (会員全員))
出雲南RC..... 359.76ドル	85.07ドル (R財団BOX)
笠岡RC..... 295.60ドル (ミリオンダラーミール)	岡山西南RC... 11.00ドル (新入会員寄付)
児島東RC..... 156.52ドル (ミリオンダラーミール)	

年次寄付にご寄付いただいた方々

松江しんじ湖RC...江角保弘、小塚隆訓、小沢秀多、龍河公二
 江津RC.....青木史郎、大源富夫、藤代美友、藤田和雄、藤田武利、郷原大、原諭、本藤繁夫、伊藤誠二、石橋孝義、柿本礼二、川西治、木原清、桑原祥瑞、森口裕行、森脇祐之助、室谷卓治、永井良三、二上忠幸、小川泰道、尾前豊、山藤迪、佐々木啓之、佐多宗、砂田忠、高田圭介、寺下衛、和原勝博、和木田登、山崎一成
 倉敷南RC.....安達博治
 赤磐RC.....合田敏弘、岩本一正
 岡山東RC.....藤井一也、近藤聡司
 岡山後楽園RC...小坂和也、宇喜多俊材
 岡山旭川RC...穉田秀明、原口正行、橋本勝、生長豊健、入江修、木口浩一、古村晴司、近藤章浩、國本卓明、源真典、中田亨、難波俊弘、野崎隆司、大原利憲、坂本眞一、佐藤洋子、妹尾直人、塩出純二、塩谷健吾、飛田晴康、富岡昌俊、宇佐美英司、若林浩一、山崎雅之、柳井基邦、吉田篤司
 岡山南RC.....高谷道夫、上本延一
 岡山城RC.....山本博之
 岡山岡南RC...河本慎也、森脇慎
 岡山西南RC...西垣和二郎



米山記念奨学会への寄付

米山功労者



奥野公平 児島 RC 3
 太田好宣 児島 RC 3
 長谷川隆嗣 津山 RC 1
 治郎丸清志 津山 RC 1
 多胡幸郎 津山 RC 1

クラブ特別寄付

倉吉中央RC…… 9,000円 (米山BOX)
 笠岡RC………27,195円 (米山ランチ)
 倉敷南RC………15,120円 (米山ランチ)

クラブ普通寄付

鳥取北RC……… 127,500円
 米子RC………162,500円
 米子中央RC……… 66,000円

特別寄付をいただいた方々

鳥取RC………油野利博、安住庸雄、藤川昭夫、藤縄匡伸、福嶋登美子、船本源司、
 星見清晴、今井陸雄、石丸文男、石谷暢男、甲斐英則、木井伸二、
 木俣信行、岸本信一、小原隆三、小谷文夫、幸田伸一、久保真人、
 倉下光明、松本宏忠、真山得治、三浦雅博、森前茂彦、村江正名、
 長石肇、中村碩男、中尾喬一、中谷浩輔、野口稔浩、西田良平、延原政行、
 荻原誉康、岡嶋公則、大石正人、大村匡由、大西弘明、尾崎繁、重信猛雄、
 嶋田耕一、四宮佑一、塩宏、城谷和成、杉山長毅、鈴木現、高橋哲夫、
 高野剛、竹内ひとみ、谷口譲二、谷口麻有子、谷本光正、坪井秀明、
 土江征典、植木壽一、涌本祐之、山岸正明、山本康雄、矢野弘之、
 米原正明、吉田友和、吉岡昭義

米子東RC………小椋理佳、杉原弘一郎

高粱RC………矢田部充

児島RC………藤井昭佐、古市日利、古谷栄一、原敏恭、橋本隆秀、出石啓治、片山多実雄、
 河合浩、河合達朗、小出輝正、近藤敬直、三宅智也、難波恭一郎、西原清孝、
 岡本紀久雄、尾崎祐一、佐伯増恒、佐藤靖、妹尾佳均、角南晃、須藤洋一、
 洲脇泰雄、田中勝次、谷口晋一、渡辺好政、山本修、山本登三郎、山崎泰弘、
 横田正生

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
 ご冥福をお祈りします。



大谷 孝 会員
 (平田 RC)

2013年3月27日ご逝去 (享年78歳)
 2000年7月1日入会
 職業分類：商業銀行



大田原俊輔 会員
 (岡山中央 RC)

2013年3月16日ご逝去 (享年84歳)
 1986年9月26日入会
 岡山大学 名誉教授
 職業分類：医学研究
 1986-1987年度 初代会長
 1987-1988年度 会長
 1989-1990年度 第5分区・分区代理

文庫通信 (307号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より (2)

◎ 「奉仕の理想と二つの標語」	安孫子貞夫	2013	2p	(D.2800月信)
◎ 「Awareness は対内が基本」	大之木精二	2013	1p	(D.2710月信)
◎ 「RIの戦略計画は何処までクラブを活性化できるか」	坂本俊雄・服部芳樹・井上暎夫	2013	7p	(D.2720月信)
◎ 「ロータリーの奉仕と平和」	朴 柱寅	2012	9p	(D.2790地区大会記念誌)
◎ 「Eクラブの設立・現状と課題」	杉田 博	2012	10p	(D.2710地区大会特集号)
◎ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」	ロン D. パートン	2013	4p	(2013年国際協議会講演集)
◎ 「新世代」	田中作次	2013	3p	(2013年国際協議会講演集)
◎ 「ロータリーソング誕生秘話」	岡村 健	2012	6p	(福岡南 RC 月報)
◎ 「DVD / 田中作次物語」	D.2770	2012		[上記申込先：ロータリー文庫]
				[申込先：D.2770 FAX(048)827-0011]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

出席報告 (2013年3月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	3月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	78.79	60.61	3	12	11	0	-1
	倉 吉	92.11	79.39	4	56	57	3	1
	倉吉中央	78.79	60.61	3	22	22	2	0
	倉吉東	81.95	65.10	4	41	41	2	0
	鳥 取	99.59	87.82	4	56	60	3	4
	鳥取中央	82.32	82.32	4	41	42	0	1
	鳥取北	81.58	78.42	4	52	49	6	-3
	鳥取西	81.39	76.64	5	54	53	0	-1
計 (8)	84.57	73.86		334	335	16	1	
第2グループ	境 港	74.58	63.27	4	41	45	0	4
	米 子	75.98	55.50	4	60	64	2	4
	米子中央	83.81	71.43	3	33	35	2	2
	米子東	76.10	62.15	3	83	86	6	3
	米子南	84.31	73.04	4	50	53	3	3
計 (5)	78.96	65.08		267	283	13	16	
第3グループ	松 江	92.46	72.22	3	66	68	0	2
	松江東	89.33	77.33	4	57	60	0	3
	松江南	87.20	80.65	4	63	63	4	0
	松江しんじ湖	89.14	74.53	4	66	67	11	1
	隠岐西郷	81.38	70.04	4	26	24	0	-2
計 (5)	87.90	74.95		278	282	15	4	
第4グループ	平 田	92.05	82.67	4	36	40	2	4
	出 雲	73.53	68.63	4	48	51	1	3
	出雲中央	75.54	65.22	4	47	45	3	-2
	出雲南	95.21	81.79	5	59	59	7	0
	大 社	78.57	69.84	3	42	50	2	8
計 (5)	82.98	73.63		232	245	15	13	
第5グループ	江 津	83.33	75.56	3	29	30	0	1
	浜 田	90.95	80.00	4	56	55	1	-1
	益 田	94.29	69.52	5	22	21	2	-1
	益田西	93.02	72.09	3	27	29	4	2
	大 田	89.89	83.15	4	23	24	3	1
計 (5)	90.30	76.06		157	159	10	2	
第6グループ	井 原	82.93	68.29	3	47	46	4	-1
	笠 岡	96.39	90.36	4	51	49	0	-2
	笠岡東	90.67	80.21	5	40	39	1	-1
	新 見	82.67	66.67	3	23	24	1	1
	総 社	80.58	74.10	4	38	39	7	1
	総社吉備路	84.29	79.60	4	31	33	2	2
	高 梁	74.24	72.73	3	45	45	3	0
	玉 島	81.50	76.65	3	30	29	1	-1
計 (8)	84.16	76.08		305	304	19	-1	

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	3月末	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	82.07	75.51	4	31	31	0	0
	児島東	92.42	89.39	3	22	22	0	0
	倉 敷	98.57	78.53	4	82	88	0	6
	倉敷中央	84.72	76.39	4	17	18	3	1
	倉敷東	97.50	80.00	3	41	40	4	-1
	倉敷南	93.39	59.25	5	65	65	5	0
	倉敷水島	91.04	83.58	3	27	25	0	-2
	倉敷瀬戸内	90.72	78.46	4	34	35	3	1
計 (8)	91.30	77.64		319	324	15	5	
第8グループ	真 庭	89.85	89.07	4	34	33	0	-1
	美 作	83.33	79.41	4	36	37	1	1
	津 山	70.57	62.30	5	88	89	3	1
	津山中央	75.36	68.12	3	26	26	3	0
	津山西	79.12	75.82	3	32	33	4	1
計 (5)	79.65	74.94		216	218	11	2	
第9グループ	赤 磐	68.42	64.47	4	21	20	0	-1
	備 前	62.91	58.04	4	62	69	9	7
	岡 山	88.97	72.57	3	109	109	0	0
	岡山東	88.53	80.12	4	85	88	0	3
	岡山北西	87.24	81.54	4	50	50	3	0
	岡山後楽園	84.89	71.56	4	54	56	0	2
計 (6)	80.16	71.38		381	392	12	11	
第10グループ	岡山旭川	82.05	75.64	3	28	27	1	-1
	岡山中央	85.94	77.42	4	43	40	2	-3
	岡山北	87.88	75.76	3	43	45	0	2
	岡山南	81.78	69.20	3	157	159	15	2
	玉 野	81.71	70.86	5	34	35	0	1
	牛 窓	91.67	91.67	4	7	6	0	-1
計 (6)	85.17	76.76		312	312	18	0	
第11グループ	岡山備南	81.45	74.78	3	34	34	3	0
	岡 山 城	98.00	86.87	4	26	25	1	-1
	岡山岡南	87.77	71.01	4	29	36	5	7
	岡山丸の内	79.41	67.65	3	33	35	2	2
	岡 山 西	86.30	70.69	4	77	77	8	0
	岡山西南	88.60	78.07	4	57	58	4	1
計 (6)	86.92	74.85		256	265	23	9	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,057名	
3月末日会員数	3,119名	
内 女性会員数	167名	
純増	62名	
3月出席率	Make-up後	84.73%
	ホームクラブ	74.11%

表紙説明 坂田一男 (1889~1956) 《習作》 1926年 油彩・画布 60×70.3cm

岡山市出身で、父は明治期の岡山の医学界をリードした医者。自身も医者を志すが高校受験に失敗してノイローゼとなり、25歳になって画家を目指して上京。さらに7年を経た1921(大正10)年にパリへと渡る。

当初はオットン・フリエスに師事するが、1923(大正12)年にフェルナン・レジェの門へと転じてからは、色も形も対象物を再現することを離れ、やがてその画面は

幾何学的な形態がひしめき合う完全な抽象作品となる。この変化は、レジェのみならず、当時ピュリスム(純粋主義)を標榜し純粋に色彩と幾何学形態の構成を試みていたオザンファンとジャ・ヌレ(後の建築家ル・コルビジェ)との交友が重要な役割を果たすが、本作はその代表的な作例。

国際ロータリー第2690地区
2012-2013年度地区 テーマ

「tsu ku su」

一家庭人として 社会人として 日本人として



国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度 ガバナー
森田 昭一郎

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館3F
TEL 086-421-2690 FAX 086-421-2691
E-mail: info@rid2690.gr.jp